

Investor Presentation

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料



第34回（2025年度）りゅうぎん紅型デザインコンテスト 一般枠 奨励賞「島の鳥物語」／相田 あゆみ

決算のポイント



第1四半期業績

連結四半期純利益※1

29.8億円
(前年同期比 +4.1億円)

経常利益 **43.6**億円
(前年同期比 +8.7億円)

資金利益 **93.2**億円
(前年同期比 +13.8億円)

**資金利益の伸長と営業基盤
拡大で良好なスタート**



預貸金・顧客基盤

預金平残※2

前年同期比 **+3.1%** 増加

貸出金平残

前年同期比 **+5.0%** 増加

県内3行シェア※3伸長

預金 **45.7%** (+0.4pt)

貸出金 **44.9%** (+0.2pt)

預貸金県内トップシェアを維持



計画進捗

・連結四半期純利益

2027年3月期通期予想
100億円に対し
進捗率 **29.8%**

・連結経常利益

2027年3月期通期予想
149億円に対し
進捗率 **29.3%**

※1 連結四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

※2 預金には譲渡性預金を含む。

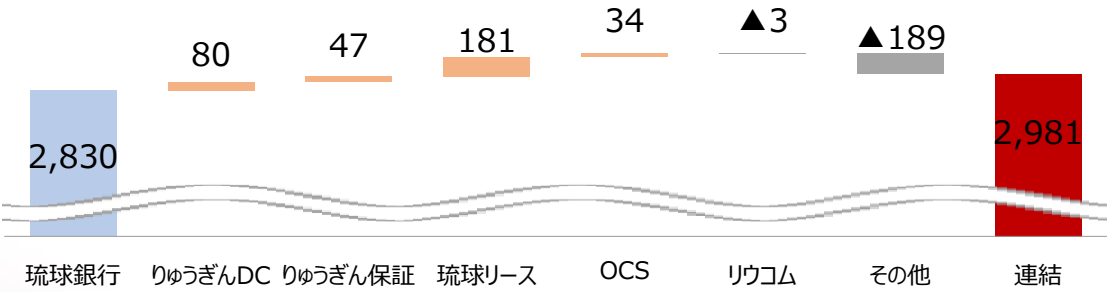
※3 沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア（平残ベース）

損益状況

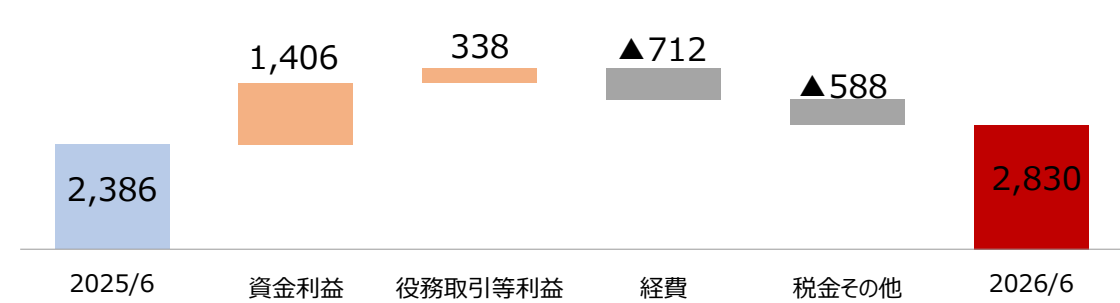
貸出金利回りの上昇や有価証券利息配当金の増加により資金利益が拡大し、経費増加を吸収して増収増益となった。金利上昇効果を取り込みながら、本業収益の積み上げを進める。

連結 (百万円、%)				単体 (百万円、%)			
項目	27/3期 1Q	前年同期比	通期予想/進捗	項目	27/3期 1Q	前年同期比	通期予想/進捗
経常収益	22,697	+3,228	-	経常収益	16,176	+2,718	-
資金利益	9,322	+1,383	-	資金利益	9,548	+1,406	-
役務取引等利益	2,095	+342	-	役務取引等利益	1,533	+338	-
経費(除く臨時損益)	8,168	+697	-	経費(除く臨時処理分)	7,473	+712	-
経常利益	4,365	+870	14,900 / 29.3%	経常利益	4,037	+915	13,900 / 29.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,981	+410	10,000 / 29.8%	四半期純利益	2,830	+444	9,500 / 29.8%
自己資本比率	10.24	+0.23 (2026年3月末比)	-	自己資本比率	9.82	+0.24 (2026年3月末比)	-

四半期純利益 (百万円)



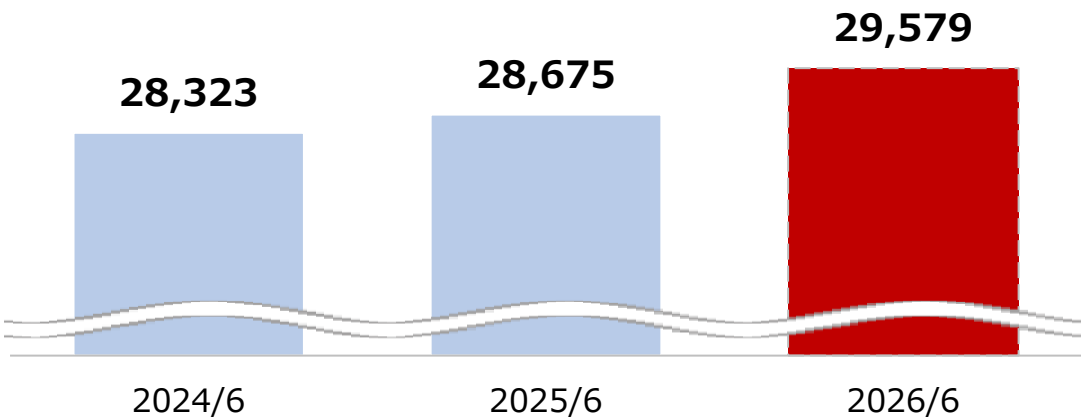
四半期純利益の前期比増減要因 (単体、百万円)



預金の状況

個人・法人預金ともに堅調に推移。預金残高を積み上げ、県内トップシェアを維持・拡大。安定した預金基盤を背景に、営業基盤の更なる強化を進める。

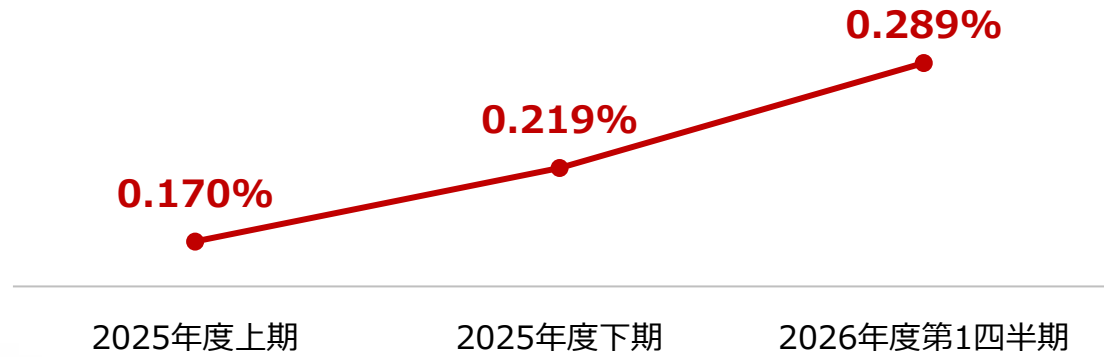
預金残高（平残、億円）



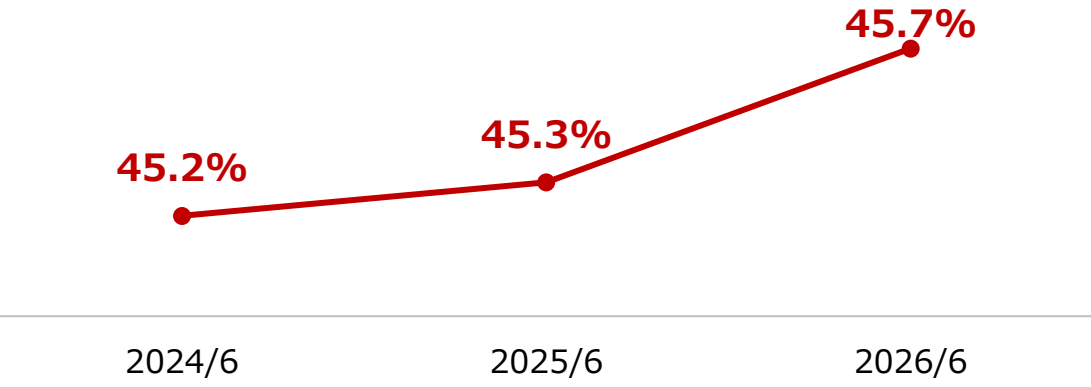
預金残高の内訳（末残、億円）

項目	2026/6末	前年同期比	増減率
個人預金	18,082	+430	+2.4%
法人預金	9,214	+316	+3.5%
地方公共団体等 その他	2,280	▲292	▲11.3%
預金 計	29,577	+454	+1.5%

預金利回り



預金3行シェア推移（平残）

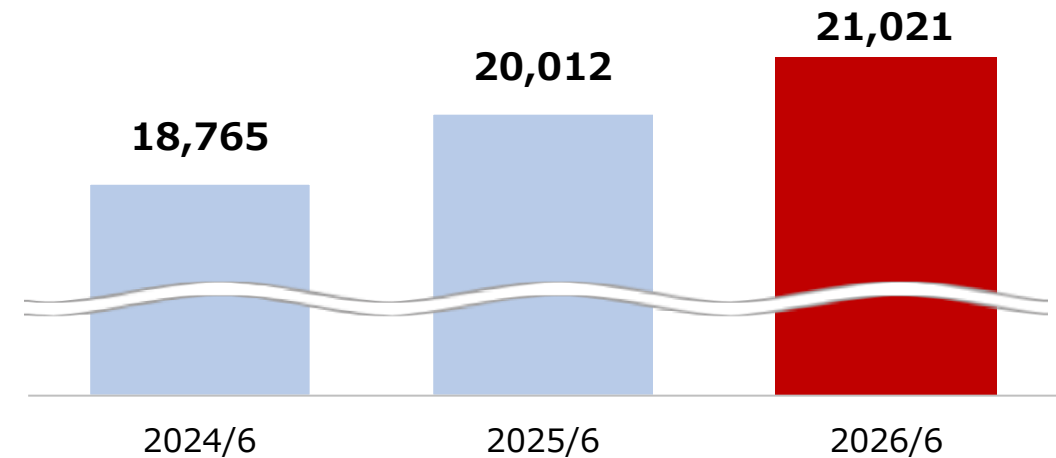


※シェアは沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア

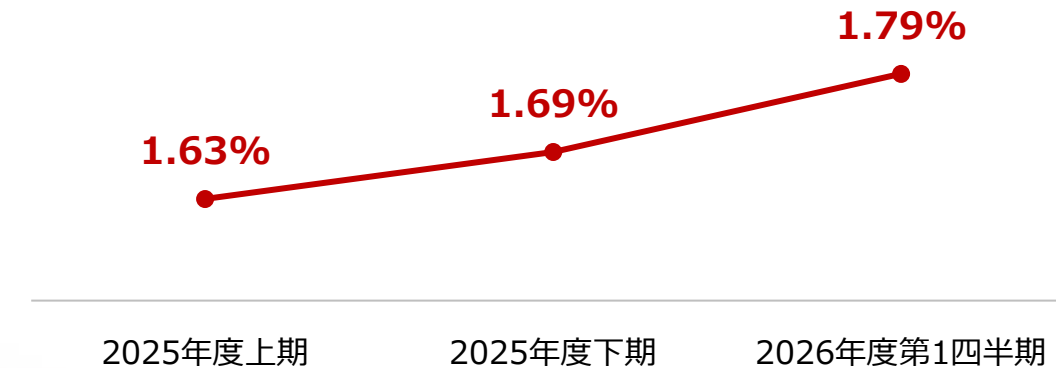
貸出金の状況

住宅ローンや法人向け貸出が増加し、預金と同じく貸出金についても残高の増加と県内トップシェアを維持・拡大。県内外の資金需要を着実に取り込み、資金利益の拡大につなげる。

貸出金残高（平残、億円）



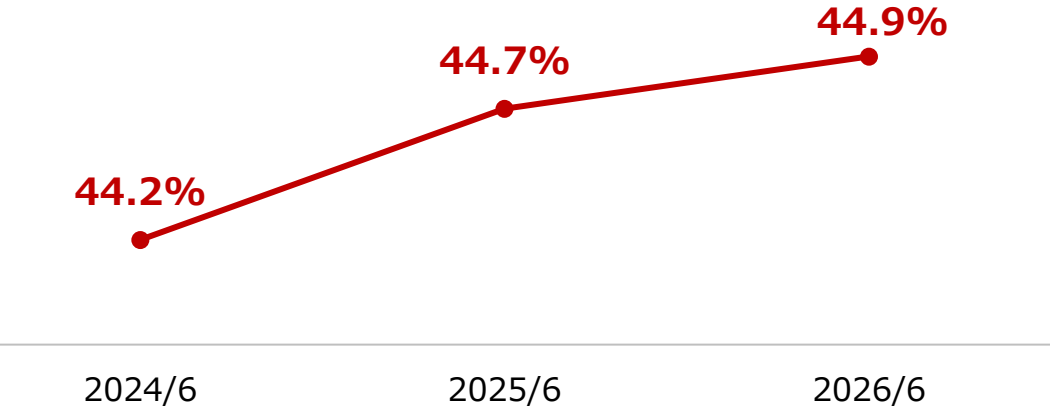
貸出金利回り



貸出金残高の内訳（末残、億円）

区分	2026/6末	前年同期比	増減率
個人	10,120	+210	+2.1%
うち住宅ローン	6,135	+201	+3.4%
法人	9,700	+798	+8.9%
地方公共団体等 その他	1,296	+12	+0.9%
貸出金 計	21,117	+1,020	+5.0%

貸出金3行シェア推移（平残）



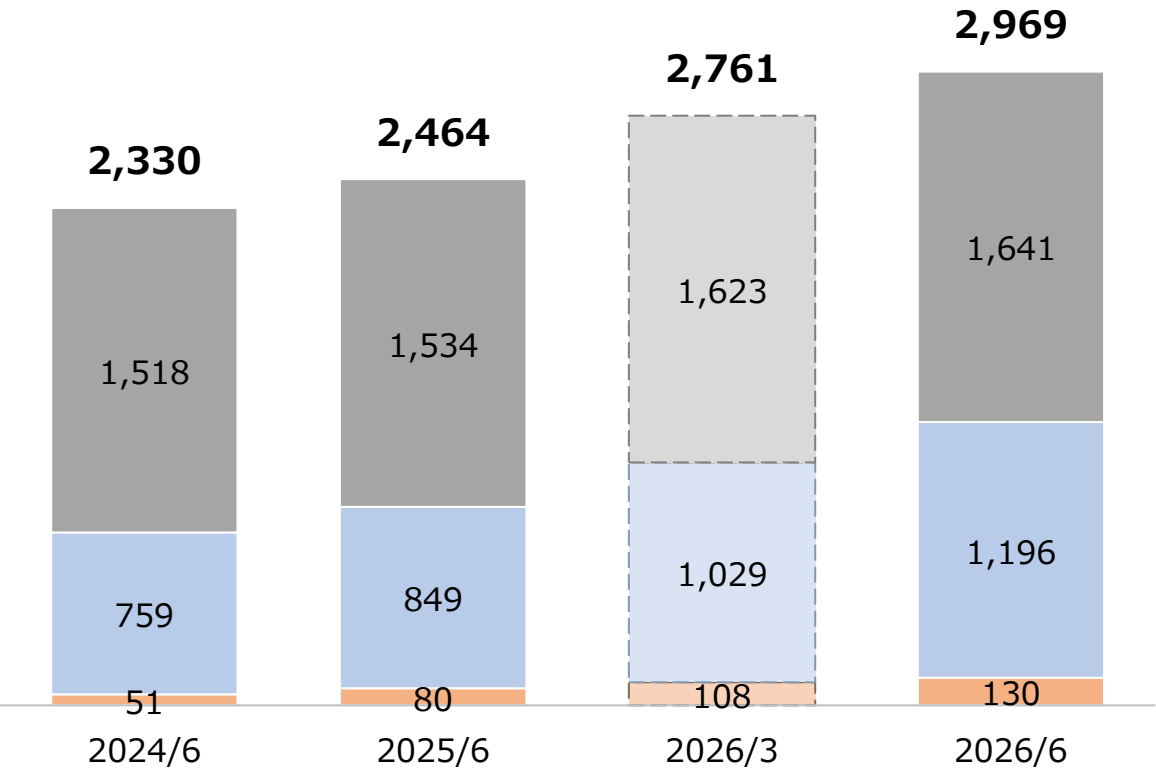
※シェアは沖縄県内に本店のある地方銀行3行シェア

預かり資産の状況

投資信託を中心に預かり資産が大きく増加し、資産形成ニーズの取り込みが進展した。NISA等を背景とした運用ニーズの高まりを捉え、非金利収益基盤の拡充を進める。

預かり資産残高（末残、億円）

■ 国債 ■ 投資信託 ■ 一時払い保険



預かり資産の内訳（末残、億円）

項目	2026/6末	前年同期比	増減率
国債	130	+50	+63.6%
投資信託	1,196	+347	+40.8%
一時払い保険	1,641	+106	+6.9%
預かり資産 計	2,969	+505	+20.4%

主な増加要因

- 投資信託が増加（残高1,196億円、+347億円）
- 円建保険の残高が堅調に増加
- 国債など公共債の取り込みが進展

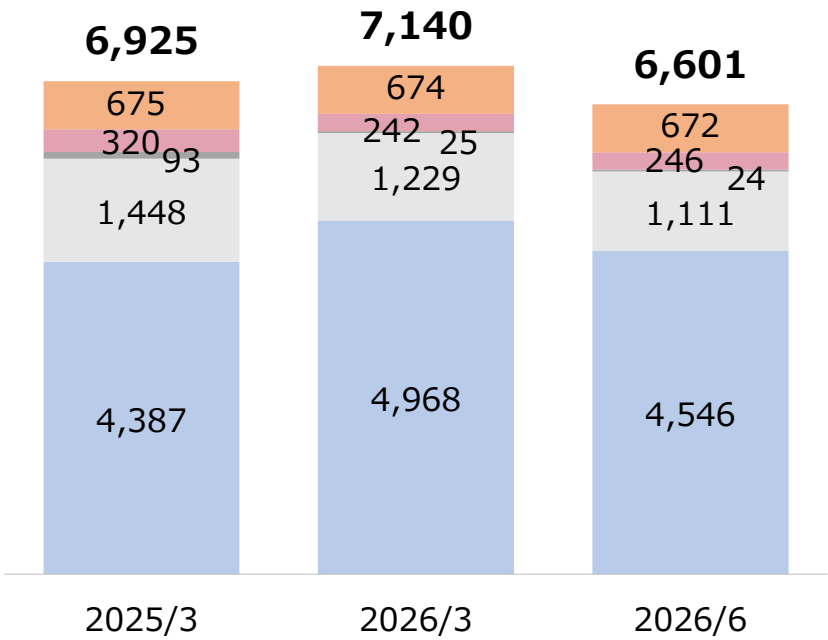
※預かり資産＝投資信託＋一時払い保険＋国債の合計

有価証券の状況（単体）

国債、地方債等の償還分を短期資金にシフトし有価証券残高は減少。有価証券運用損益は、金利上昇に伴う円債の利息増加、株式ETFの売却等で順調に積上げ。

有価証券残高（億円）

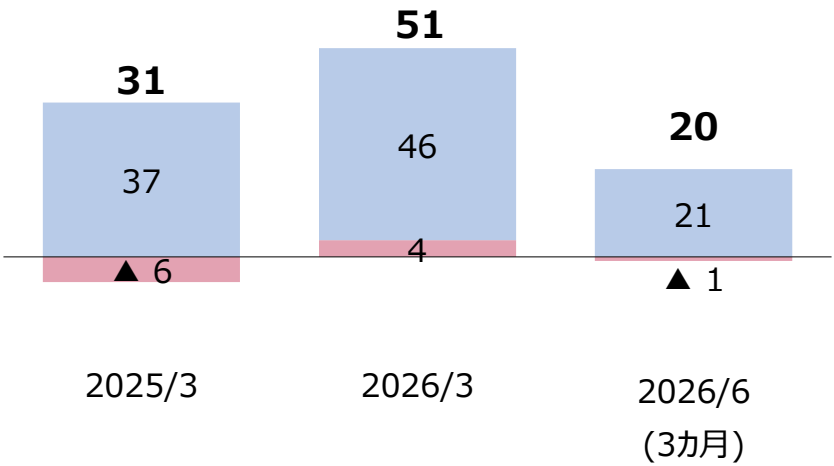
株式・株 E T F・投信等 外国債券（外貨建・円建） 社債 地方債 国債



円貨債券 デュレーション(年)	3.29	2.70	3.02
外貨債券 デュレーション(年)	3.97	3.36	5.40

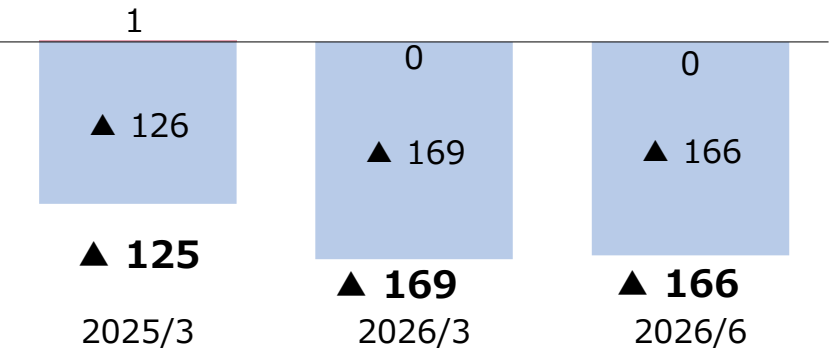
有価証券運用損益（億円）

外債（外貨建のみ・調達コスト含む） 円債（円建外債含む）・株式・株式ETF・投信等



有価証券評価損益（億円）

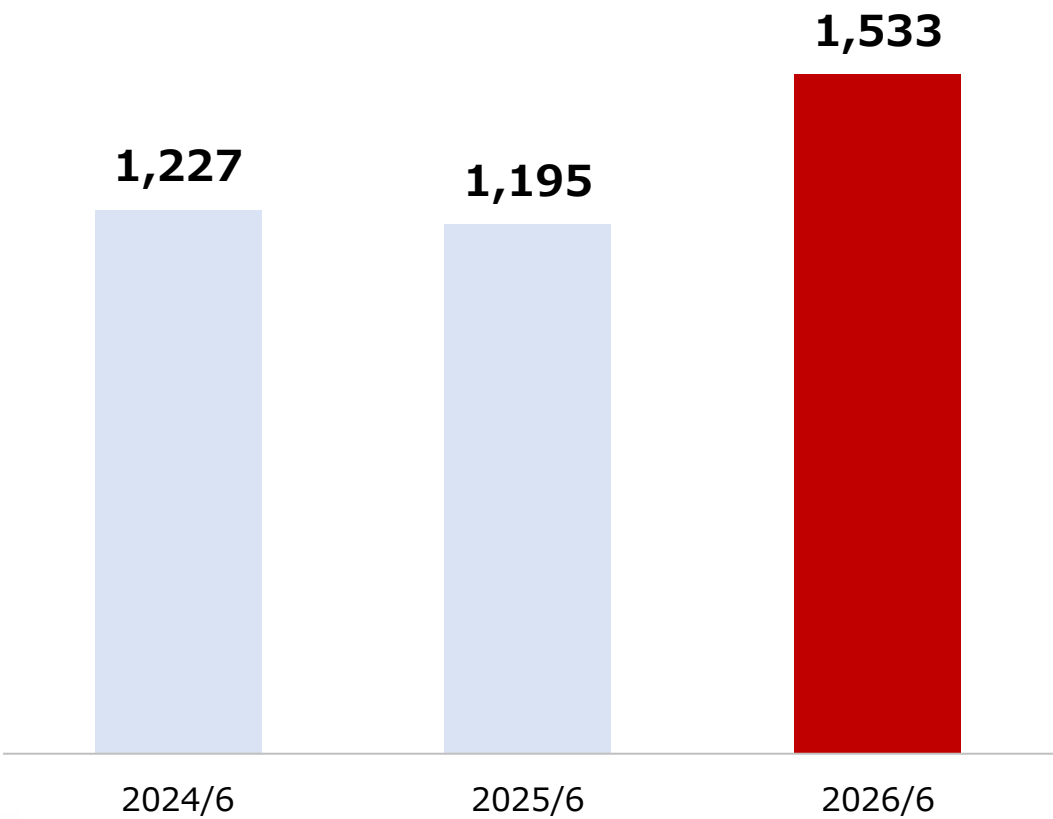
外債（外貨建のみ） 円債（円建外債含む）・株式・株式ETF・投信等 評価損益



役務収益

コンサルティング業務やキャッシュレス関連収益が伸長し、非金利収益は増加。ソリューション提供力の強化を通じて、収益源の多様化を進める。

役務取引等利益の推移（単体、百万円）



項目（百万円）	2026/6末	前年同期比	増減率
役務取引等利益	1,533	+338	+ 28.2%
うちキャッシュレス事業	253	+7	+2.8%
うちコンサルティング業務	328	+235	+ 252.6%

項目	2026/6末	前年同期比	増減率
Visaデビット契約数	201千件	+8千件	+4.1%
イシューング決済額 （3カ月平均、百万円）	3,389	+347	+11.4%
アクワイアリング決済額 （3カ月平均、百万円）	10,138	+1,610	+18.8%

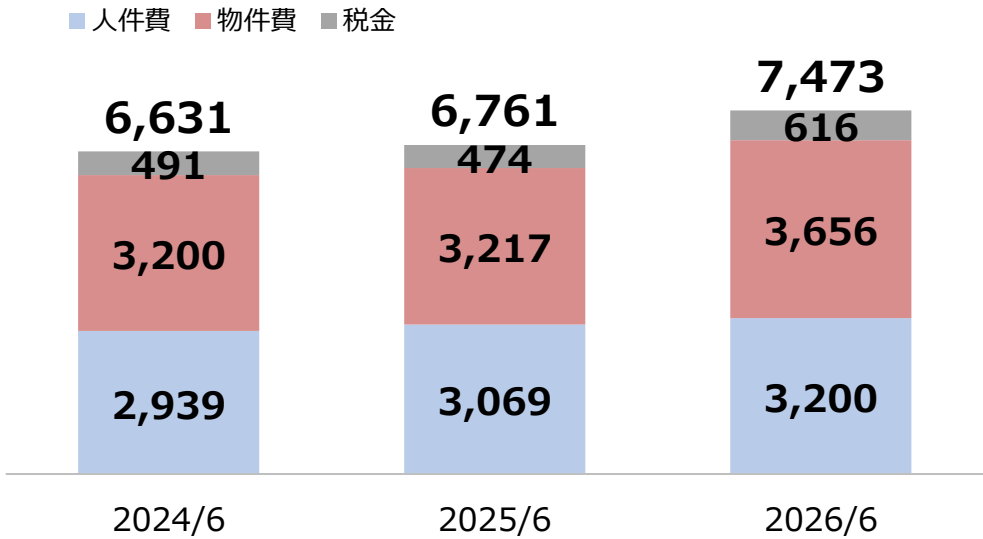
経費

将来成長に向けた人的資本・デジタル分野への投資を継続するとともに、生産性向上や経費構造改革を進め、収益力と企業価値の向上につなげる。

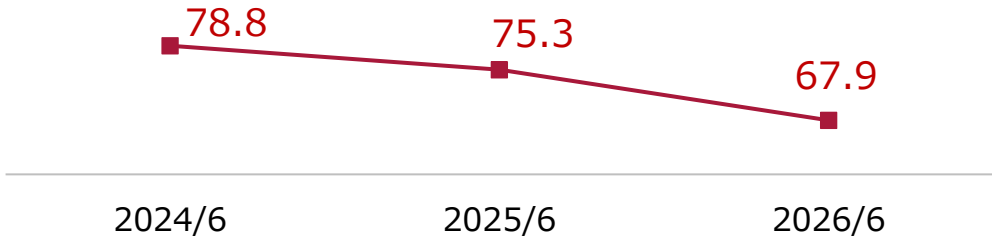
項目（百万円）	2026/6末	前年同期比
人件費	3,200	+131
物件費	3,656	+439
税金	616	+142
経費 計 （除く臨時処理分）	7,473	+712

【参考】
本店関連費用：約302百万円
（減価償却費、税金等）

経費内訳の推移（単体、百万円）



コアOHRの推移（単体、%）

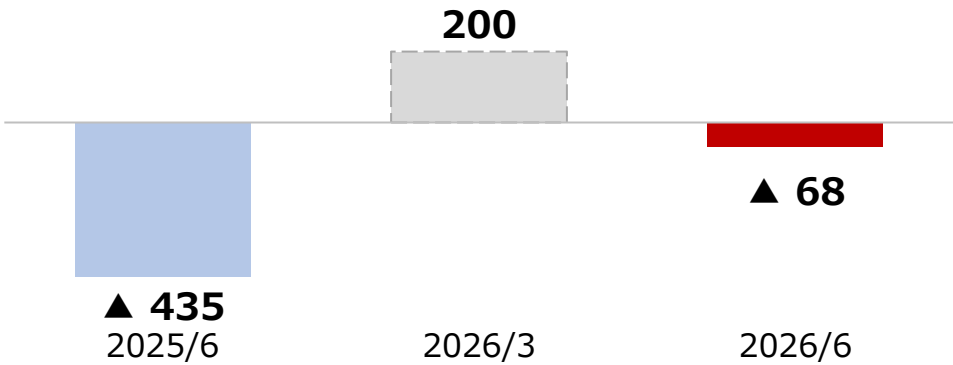


与信費用・開示債権

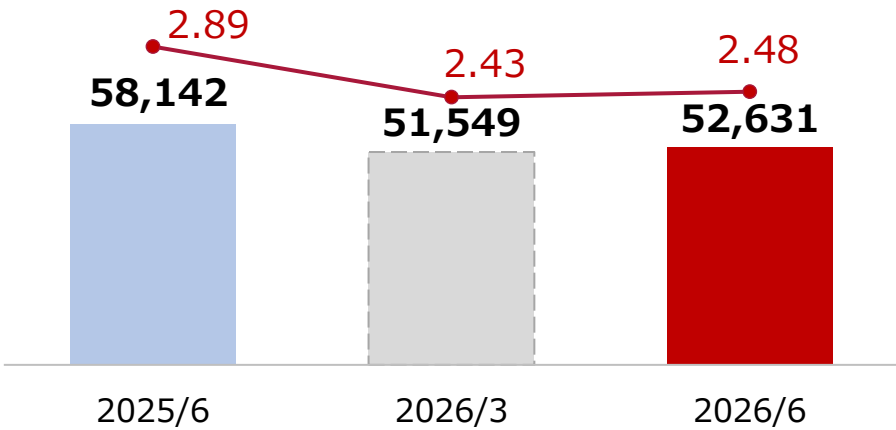
与信コストは低水準を維持し、貸出金残高拡大のなかでも開示債権比率は安定的に推移した。地域経済の動向を注視しながら、リスク管理と地域への資金供給の両立を図る。

項目（百万円）	2026/6末	前年同期比
ネット与信費用	▲68	+367
不良債権処理額	▲6	▲14
貸倒引当金戻入益	16	▲406
うち一般貸倒引当金	46	▲28
うち個別貸倒引当金	▲29	▲376
償却債権取立益	44	+22

与信コスト関連の推移（単体、百万円）



開示債権額および開示債権比率（百万円・%）



本資料について

本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787
Fax : 098-862-3672
E-mail : ryugin@ryugin.co.jp

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合や公表資料と一致しない場合があります。また、資料中の計数は、説明・比較のために独自の定義を用いて算出している場合があり、必ずしも公表数値と一致しない場合があります。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで2026年8月14日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。